

平成30年度元総社公民館の重点施策

元総社公民館

1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

2 本年度の重点施策

今年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区であり、潜在的に子育てに困っている親が多い。そこで、次の事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ①元総社すこやか学級やベビープログラムなどの主催事業を開催する。
- ②元総社地区ボランティア連絡会と公民館との共催で子育てサロン「かえるっ子」を実施する。
- ③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行っていく。

また、昨年度に引き続き、地区内住民を対象とした子育て支援ボランティア講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

- ①青少年が地域活動に自主的に参加できるようインリーダー研修等の指導者養成を実施する。
- ②小学校高学年生を対象に子育て連主催のリーダー研修を実施する。青少年が一泊の野外活動の経験を通して、参加者同士学校区を越えて交流を深める。
- ③のびゆくこどものつどいや元総社の子どもを明るく育てるつどいなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。
- ④少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。
- ⑤ボランティア連絡会と公民館の共催事業で、幼少期から少年期にかけて児童・親子を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学校区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。

(3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、また、自治会長との連携をよりよいものにするため、各種の研修会や講座を設ける。

①視察研修

奨励員と自治会長合同の視察研修。前橋及び近隣の地域の歴史遺産を視察し交流と研鑽を深める。

②奨励員単独資質向上研修 奨励員のための個々の研鑽を高める研修事業。

③出前講座を活用した研修

奨励員と自治会長合同の研修講座で、市の出前講座を活用して共通の学びを通じた研鑽と交流を図る。

(4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループの会員の高齢化が課題になっており、今のうちから新規会員加入に向けての取り組みが必要になっている。そこで、下記の取り組みを実施する。

①ある一定期間、自主学習グループの活動を公開し、体験事業を実施する。このことにより少しでも多くの新規加入者を募るもの。

(5) 学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

① 国府を中心とする遺跡など、元総社の大切な歴史資源について学ぶ講座を設け、地域に対する愛着を醸成することを目的とする。

【予定】歴史講座

(ア)「山王麿寺と上野国府について」

② 伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定。

【予定】食文化講座

(ア)「ぐんまの伝統食を楽しむ会」(11月中旬～：全4回)

③ **ベテラン学習講座**

健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

④ **文化祭**

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、子どもたちを対象にした勾玉作りコーナーや、総社神社の太々神楽や獅子舞などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する